



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2019年01月21日 第903号「週刊五十嵐レポート」

強い会社の圧力をまともに受ける

強者の戦略の狙いは、弱い会社に2乗作用の圧力を与え、粗利益の補給力を大本から少なくし、弱体化させ、自社の粗利益をさらに多くする。

競争条件の不利な弱い会社が競争力の強い会社と張り合うとどうなるか。会社はガタガタになって空中分解することになる。

1月18日付、日経新聞に、「シベール、民事再生手続き」という記事。洋菓子製造のシベール(山形県)は、山形地裁に民事再生手続きを申し立てた。記者会見した社長は、「ラスクで先頭を走り(ジャスダックに2005年)上場したが、ライバルの登場などに対応できなかった」と説明。

この記事を見て、ライバル?ピンと来た。群馬の「ガトーフェスタ・ハラダ」。4年前(2015年)1月に群馬県高崎市の商工会でセミナー講師に招かれたとき、ガトーフェスタ・ハラダの本社工場兼店舗を見学した(第700号参照)。同社は2000年からラスクの販売をはじめ、02年売上3億円のとときに8億円の工場を建て、04年、08年と工場(40億円)増設。売上は06年10億、07年20億、09年50億、10年120億、11年160億、15年175億と一気に断トツになった。

一方、シベールの売上は15年34億、16年31億、17年30億、18年26億と減少。まさに強者(ガトーフェスタ・ハラダ)から2乗作用の圧力をまともに受けてしまった。日経新聞電子版によると、「シンプルな味わいが中心のシベールのラスクに対し、ハラダはホワイトチョコレートをコーティングしたラスクなど様々な商品を投入。豪華なイメージで人気となった」。シベールの社長は、「贈答の習慣が変わり、ライバルが出現しても成功体験から抜け出せなかった。流れに適應できなかった」。売上のピークは08年44億円。10年後の18年は26億円で3期連続赤字。

ガトーフェスタ・ハラダは強者の戦略でトップに登りつめた。00年から10年で売上100億円突破。相手が悪かった。再生のヒントとしては、北海道の洋菓子製造販売(六花亭、柳月)を参考に。大都市圏に進出しない。地元(山形県)から出ない。強い会社(全国区)とは戦わず、山形の独自性を発揮する。

ちょっと
気になる出来事

1月18日付、日経新聞に日本電産の決算記者会見の記事。

2019年3月期は従来の最高益予想から一転、最終減益になる見通し。中国事業で想定を超える逆風。

「尋常でない変化が起きた」「(米中貿易戦争を)甘く見てはいけない」「11、12月とガタンガタンと落ち込んだ。受注や売上、出荷のペースで世界的に全セグメントにおいて大きな変化が起きた」。

「この変化を甘く見てはいけない。今からもっと悪くなったら、リーマン(ショック)に近いことになっていくのでは」。(1/18朝日新聞より)

1月19日付、日経新聞に「日本電産ショック後、株価堅調でも・・・」。

18日の株価は下落せず、反発した。日本電産ショックの影響を受けなかった。

ほっとしましたが、ターニングポイントになるかもしれない。注意しなければ。



一口メモ
知識

幸福は安全な生き方

何事もうまくいって幸福な人は、他人に危害を与えたり、迷惑をかけたりしません。そういう人は、喜びを感じながら、いいことをします。

だから、まわりからいい反応が返ってきます。すると、さらにいいことをしたくなります。

このように、充実感のある人は、まわりにも幸福の影響を与えて、安全に生きていられるのです。

喜びと充実感を感じることが、社会の安全につながるのです。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムツレ・スマナサーラ)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時～6時

●「戦略社長塾東京」銀座校、五反田校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL 03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

